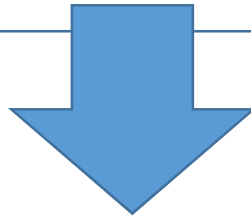


北成地区 ワークショップ第1回 (2018年11月13日)

■■■ 昨年の北成地区まちづくり懇談会では・・・ ■■■

「人口が少なくても人が温かく絆が強い」「観光の穴場がたくさんある」「便利さからは遠いが住み心地が良い」「北成地区に住み続けたい」など、地域への愛着に溢れた好意的なご意見をたくさんいただきました。



現在策定している総合振興計画は、この先 10 年間のまちの目指す姿を示す計画です。

計画が完了するおよそ 10 年後も、皆さんが変わらず愛着を持って暮らし続けることができる北成地区を実現するために、どのような取り組みが必要かについて話し合い、住民の皆さんとともに進める計画づくりにつなげていきたいと思いをします。

☆☆ 今日のテーマ ☆☆

「北成 2030」

～10 年後どのような地区になってほしいですか、そのために必要なことは？

【今日のグループでの取り組み】

10 年後の北成地区はどのような地域になってほしいと思いますか？

また、その姿を実現するためには、どんな取り組みや活動（行動）が必要でしょうか？

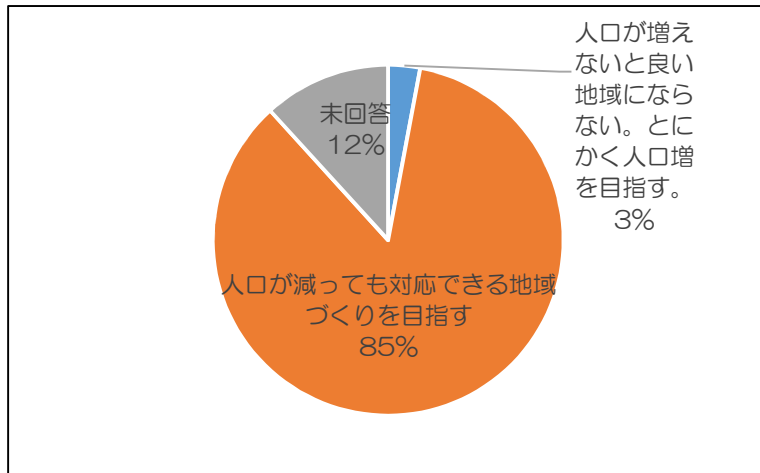
グループで考えを出し合って、そのうちから特に大切だと感じる取り組みを 3つ選びましょう！

「昨年のまちづくり懇談会での意見」や、今夏に小学生から大人まで 33 人が、鷹栖町の魅力を出し合い、未来に向けて大切にしたいことをまとめた「たかす未来予想図」も参考にしながら、北成地区の未来について考えてみましょう。

裏面に続きます！



- 参考：あなたのまちづくりへの考えに近いのはどちらですか。
(まちづくりセミナー参加者アンケートから)



⇒ 人の数も大切だけど、それだけでは決まらない…

今住んでいる人が笑顔で暮らせる地域づくりが大切なこと

- 「人口が少なくても人が温かく絆が強い」
- 「観光の穴場がたくさんある」
- 「便利さからは遠いが住み心地が良い」
- 「北成地区に住み続けたい」

北成地区の皆さんが考える

- 10年後も住み続ける北成地区は、こんな姿になってほしいな
 - 北成地区のこんな魅力を大切にしていきたいな
- など、未来への夢を教えてください！

そして、その夢を実現するために必要な取り組みを考えてみましょう

(例) ■子どもが楽しい体験をできる地区になるため

- ⇒ ・家庭菜園学校など、農業体験ができる
- ・空き家を活用して若い世代の方も呼び込む

■安心して暮らし続けられる地区になるため

- ⇒ ・若い人と高齢の方とが協力して生活できる集合住宅

など…